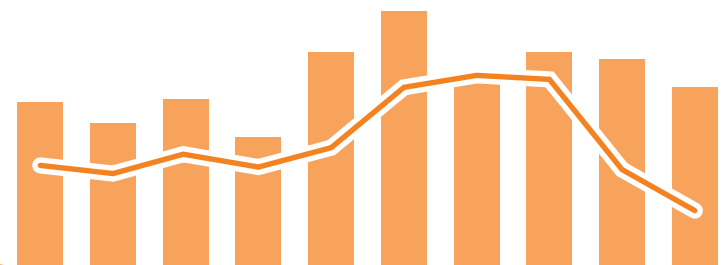


## 第2部

# 岩手のくらし

### 第7章 歴史・文化

～豊かな歴史や文化を受け継ぎ、  
愛着や誇りを育んでいる岩手～



## 世界遺産登録件数は全国平均を上回る

### ■ 郷土愛の向上に向けた取組に対する満足は不満を上回る

平成31年（2019年）県の施策に関する県民意識調査によると、「郷土の歴史遺産や伝統文化に、誇りや愛着を持てるような取組がされていること」について、重要（「重要」＋「やや重要」）と意識している人の割合は、県計で65.3%となっています（図1）。

また、満足（「満足」＋「やや満足」）と意識している人の割合は、県計で23.0%となっており、不満（「不満」＋「やや不満」）の13.1%を上回っています。なお、広域振興圏別の満足の割合は、県南で24.1%と最も高くなっています（図2）。

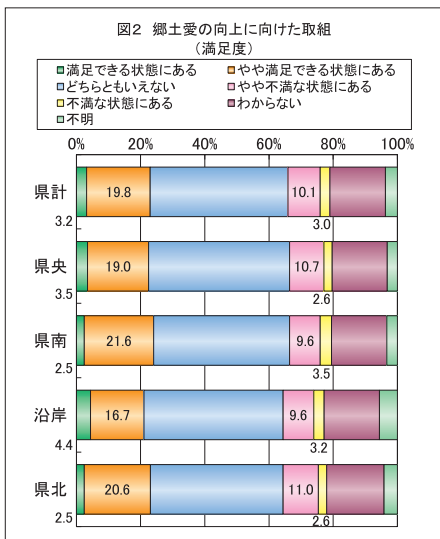
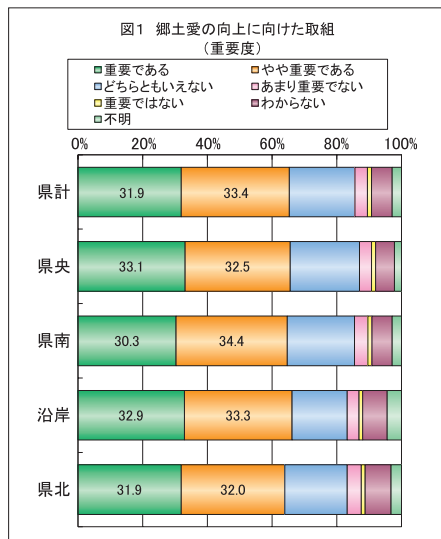
### ■ 世界遺産登録件数は全国平均を上回る

令和元年（2019年7月現在）の世界遺産登録件数をみると、本県は、平成23年（2011年）に登録された「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群－」と平成27年（2015年）に登録された釜石市の橋野鉄鉱山を含む「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の2件の文化遺産を有しており、全国平均の0.8件を上回っています（図3）。

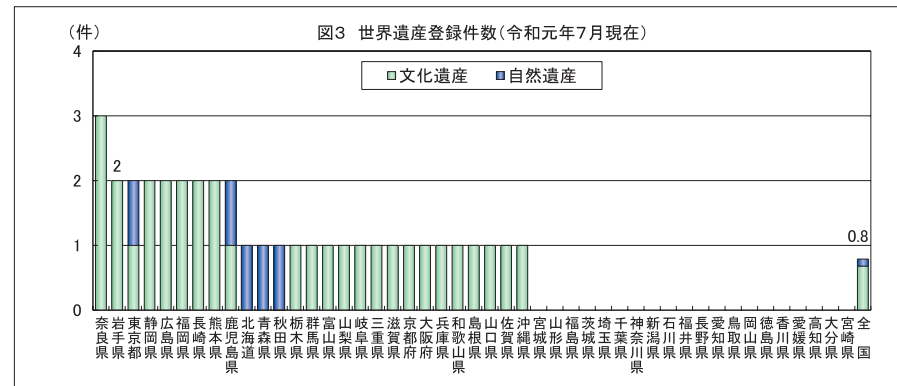
### ■ 民俗文化財指定件数は全国平均を上回る

令和元年（2019年12月1日現在）の国宝・重要文化財指定件数をみると、本県は80件（全国31位）で、全国平均（281.3件）を下回っていますが、東北6県平均（73.3件）を上回っています（図4）。

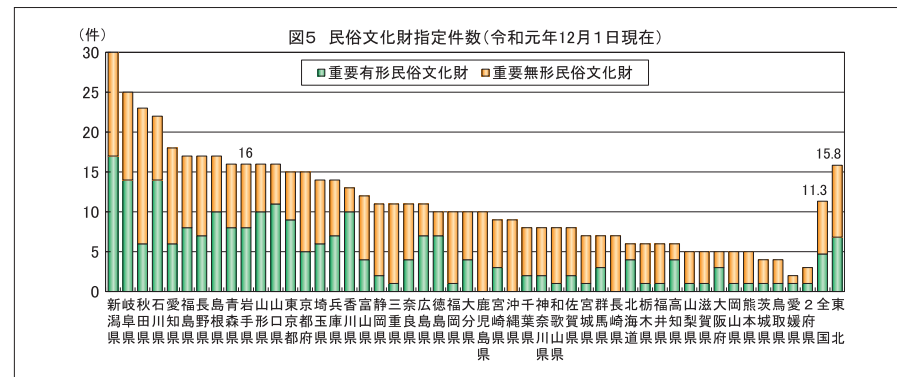
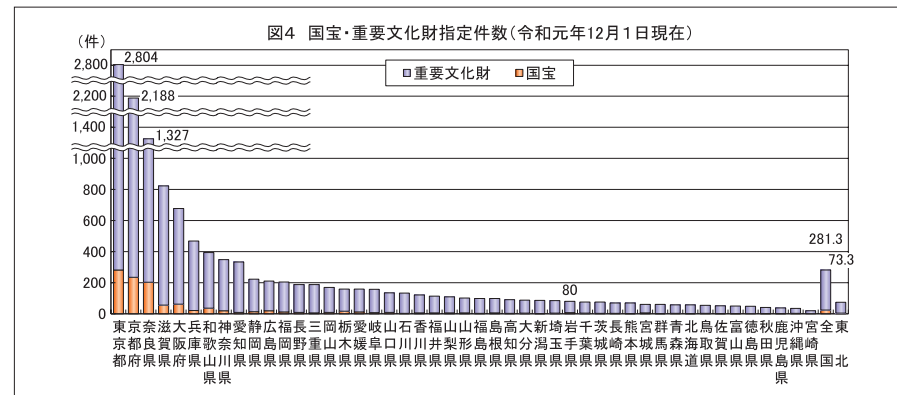
また、令和元年12月1日現在の民俗文化財指定件数（重要有形民俗文化財と重要無形民俗文化財の合計）をみると、本県は16件で全国9位となっており、全国平均（11.3件）を上回っています（図5）。



資料：県政策地域部「平成31年県の施策に関する県民意識調査」



※ 複数の都道府県に係る世界遺産については、それぞれの都道府県において1件とカウント。  
資料：文化庁



※ 2府県 重要有形民俗文化財：「生駒十三峠の十三塚」（奈良・大阪）  
重要無形民俗文化財…「室根神社のまつりバ行事」（岩手・宮城）  
重要無形民俗文化財…「豊前神楽」（福岡・大分）

以上資料：文化庁「文化財指定等の件数」